



學 穂

令和 7 年度 広州日本人学校
学校だより No.1
令和 7 年 4 月 15 日
発行責任者 校長 大久 耕

～ 2025 年 広州日本人学校は 開校 30 周年です ～

令和 7 年度スタート ～「アイ(愛)」を探しながら、新しい冒険に～

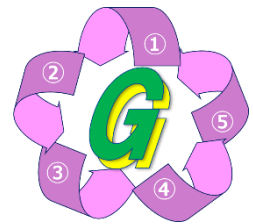
令和 7 年度が始まりました。児童生徒数 364 名 (小学部:284 名 14 学級, 中学部:80 名 3 学級), 教職員は新たに着任した 7 名を加えて 41 名でのスタートとなります。

今年度は, 日本人学校として開校してから 30 周年にあたり, 8 月末には記念式典を実施する予定です。始業式では, 児童生徒会長の H さんから, 「記念すべき開校三十周年を迎える年に在籍できることは, 私たちにとっても特別なことです。広州日本人学校が開校三十周年を迎えるこの年には, 学校の目標である AAA が, やはり大事になってくると思います。広州日本人学校の一員として, 明るい笑顔で明るい挨拶を心がけ, 開校 30 周年を気持ちよく迎えられるように, 頑張ってください。」(一部省略)と, 全校児童生徒に呼びかけがありました。

また, 校長からは, 「もっともっとすてきな学校にしていきたい。そのために, 学校を大切にする『愛校心』, 新しい友達や先生との『出会』, 毎日の『挨拶』, 『相手』の気持ちを考えること, 学習や学級での『学び会』や『話合』など, 学校中にある『アイ(愛)』を大切に生活してほしい。たくさんの『アイ(愛)』を探しながら, 新しい冒険に出発しましょう。」と話をしました。

本校では, 今年度も「つながりを未来に実感させる広州日本人学校の創造」をスローガンに, 五つのつながりを大切に教育活動を行ってまいります。みなさまのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

- 子どもと教師とのつながりを大切にする。(向き合い)
- 子どもと授業とのつながりを大切にする。(学び合い)
- 子ども同士のつながりを大切にする。(高め合い)
- 子どもと保護者・日本人社会とのつながりを大切にする。(付き合い)
- 子どもと中国とのつながりを大切にする。(関わり合い)



令和 7 年度 入学式(4 月 11 日)

4 月 11 日(金), 令和 7 年度入学式を挙行いたしました。はじめに, 小学部 46 名, 中学部 28 名一人一人の呼名を行うと, 全員がしっかりと声で答えてくれました。

式では, 在広州日本国総領事館の貴島総領事から, 「ありがとうは人から愛され, 尊敬される人になるための毎日のレッスン。ごめんなさいは, もう一度みんなと協力する仲間に戻るための言葉。協力できると感動できることを学校生活で経験し, いい学校にしていきたい。」と, 励ましの言葉をいただきました。



令和7年度 着任職員の自己紹介



かわのべ ひとみ 川野 邊 瞳	小学部	埼玉県から赴任しました。子どもたちの目が輝き、明るい声が響く教室になるよう努めてまいります。よろしくお願いいたします。
しもだ こうだい 下田 浩大	小学部	岐阜県から赴任してきました。子どもたちと共に学習に遊びにと毎日を全力で楽しんで生活していきます。よろしくお願いいたします。
きのした たかひろ 木下 隆広	小学部	愛知県豊田市から中国に参りました。子どもたちの個性を、最大限に引き出せるように頑張りたいと思います。よろしくお願いいたします。
たかはた ともかず 高畑 朋和	小学部	滋賀県から赴任しました。子どもたちとともに、この広州日本人学校で過ごす日々が楽しみです。子どもたちの“挑戦”を大事にしていきます。よろしくお願いいたします。
くらもち あつし 倉持 敦	小学部	兵庫県神戸市から赴任しました。広州日本人学校の子供たちと一緒に学び、成長していきたいです。笑顔で頑張ります。よろしくお願いいたします。
すなはら てっぺい 砂原 鉄平	小学部	“有志者事竟成”という成語が好きです。大きな・小さな・いろいろな目標と向き合っ、子どもたちと一緒に学んでいきたいと思ます。よろしくお願いいたします。
しおい りさ 塩井 里咲	小学部	子どもたちのよいところをたくさん見つけ、伸ばしていけるよう努めてまいります。よろしくお願いいたします。

～ 学校長日記 ～

令和7年度がスタートしました。広州日本人学校31年目の始まりです。

1995年に児童生徒数わずか18名(小17,中1)で開校し、一時は450名を超えるまでになりました。コロナ禍では、学校存続が危ぶまれるほど、人数が減りました。それでも保護者の皆様、広州日本商工会をはじめ、多くの方々に守られ、支えられて今日があります。住む場所に、子どもたちが学ぶ場所があるのは、決して当たり前ではありません。学びたくとも、学べない子も世界中にたくさんいます。

広州日本人学校は、この街に住む「日本人共有の財産」として私は思っています。今、学んでいる子どもたちのため、これから学ぶ子どもたちのため、そしてこれまで支えてくれた方々のため、“宝物”と呼べる学校になるように、励んでいきたいと思ます。

※ 本校の前身は、1982(昭57)年に開校した「広州日本語補習授業校」です。



広州日本人学校校章(2000年4月制定) デザイン:金子守久氏

校章に込められた3つの「G」(Guangzhou, Good friend, Growing)

日中両国の子どもたちが、協力し、助け合っ、共に成長してほしいという願いを込めたもの。